

施策名：資源・エネルギーの安定供給（革新的エネルギー技術の研究開発加速）

① 施策の目的

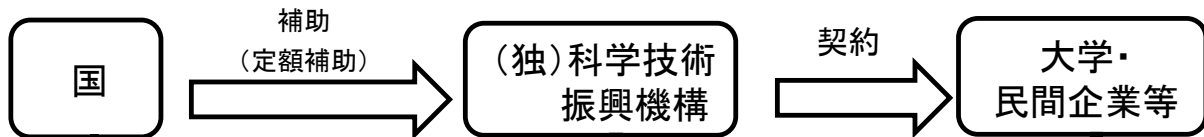
エネルギー貯蔵・利用技術や省エネルギー技術等の有望なシーズの研究開発を加速し、我が国が抱えるエネルギー需給構造上の脆弱性を克服し、資源・エネルギーの安定供給の実現に貢献する。

② 施策の概要

我が国が抱えるエネルギー需給構造上の脆弱性を克服し、資源・エネルギーの安定供給を実現するためには、蓄電池や燃料電池等のエネルギー貯蔵・利用技術や、革新的断熱素材や軽量・高強度素材等の省エネルギー技術等に関する技術革新が不可欠であるため、特に有望な技術シーズについて産学連携による研究開発を加速する。

③ 施策のスキーム、実施要件(対象、補助率等)、成果イメージ等

【スキーム図(補助金)】



- 共同研究を強化することで、有望な技術シーズを民間企業等へ円滑に橋渡し
 - 革新的技術を用いた商品・サービス等の市場投入を早期化
- 資源・エネルギーの安定供給に貢献**

「先端的低炭素化技術開発(ALCA)」における革新的技術シーズ(例)

資源・エネルギーの安定供給に資する有望な研究課題を抽出

エネルギー貯蔵・利用技術



希少材料フリー蓄電池



希少金属フリー燃料電池

省エネルギー技術



革新的断熱素材



軽量・高強度素材

産学連携による共同研究を加速

- 技術シーズを飛躍的に伸ばすために必要な設備を措置

<設備の例(イメージ)>



- 各技術の組み立てや性能評価によるPDCA等を加速

<展開例>



希少金属フリー燃料電池の量産化



車両の軽量化



住宅断熱性の革新

住宅用蓄電池の導入促進

■ 本施策の実施により、革新的な新規製品の導入による441億円の経済波及効果の創出、それに伴う雇用創出※を想定。

※：産業連関表(総務省統計局)を参考に試算